

総括表

熊本県概要

- (1)人口:約172万人(生産年齢人口54.9%(前年比-0.1%)、高齢者人口32.1%(前年比+0.2%)) R4年版熊本県推計人口調査
- (2)主要産業構成:製造業(就業者数12.6%)、農林水産業(就業者数8.8%)、建設業(就業者数8.1%) R2年度国勢調査
- (3)経済状況:県内総生産6兆1,051億円(前年比-2.8%)、製造業生産量1兆2,071億円(前年比+10.6%) R2年度版県民経済計算報告書
- (4)雇用情勢:有効求人倍率1.26倍(R5年11月、前年同月比-0.17%)、正社員有効求人倍率1.15倍(R5年11月、前年同月比-0.07%)
- (5)総合戦略等で重点的に取り組んでいる産業対策・雇用施策

県政運営の基本方針である「第2期熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を令和3年3月に策定(令和5年10月に改訂)。同戦略に基づき、熊本地震や豪雨災害で被災した企業や、新型コロナにより大きな打撃を受けた産業界を支援し、県経済の復活と力強い発展に繋げるとともに、企業誘致や新たな事業の創出・起業を促進し、若者が働きたいと思う魅力的な雇用を創出する取組みを進めている。

地域における課題と現状

課題

熊本地震、令和2年7月豪雨災害、新型コロナに加え、海外大手半導体企業の進出を背景とした幅広い業種における人手不足(喫緊の課題) 県内企業における経営環境の改善・採用力のさらなる向上(長期的な課題)

< 企業・事業主 >

求職者とのマッチングによる人手不足の解消
(全分野、特に建設・観光分野)
企業における経営環境の改善・採用力の向上支援
(全分野、特に観光・食産業・半導体関連分野)

< 求職者・労働者 >

女性をはじめとした多様な求職者
若年求職者
U/Iターン・転職希望者

必要な支援策

処遇改善・DX化等個別のニーズに応じた伴走型支援(A)
熊本で働く魅力を伝える広報ツール作成(B)

業界の魅力を伝えるセミナー・説明会実施(BC)
企業と求職者のマッチングイベント実施(C)

新しいくまもと創造に向けた人材確保・雇用創出支援事業

事業テーマ

県内企業の魅力向上・発信及び求職者とのマッチング支援

戦略的雇用創造分野

建設・観光・食産業
・半導体関連分野

地域の関係者からの意見・要望・提案等

- ・建設業に関する的確な情報発信による理解醸成とイメージアップが必要（建設業関係有識者）
- ・地域外に転出した若者に、どのように企業の魅力を伝えていくかが課題（くまもと県南フードバレー推進協議会）
- ・TSMCの進出によるマイナスの影響として最も懸念されるのは人手不足の加速（熊本県商工会連合会による調査）
- ・TSMCの進出を契機に、地域ぐるみで人材の呼び込みを行うキャンペーン活動を希望（熊本県工業連合会）

事業規模・事業効果

【事業規模】

事業費：3.0億円（ 1.0億円、 1.0億円、 1.0億円）

【事業効果】

雇用創出：591人（ 197人、 197人、 197人）

A：企業・事業主向け

多様な人材の獲得等、企業の採用力向上等に係る伴走型支援（A1）
宿泊業経営者を対象とした経営・労働環境改善セミナー及び専門家派遣（A2）
農商工連携支援アドバイザー派遣及び販路拡大マッチング支援（A3）
企業経営者を対象とした専門家派遣によるDX化の支援【デジ田交付金】
魅力ある県内企業を「ブライ企業」として認定・表彰【県単独事業】

B：求職者・労働者向け

観光業の魅力を伝えるセミナー開催（B1）
熊本で働く魅力を伝える広報ツールの制作・活用（B2）
ブライ企業の魅力をガイドブックや動画等で発信【県単独事業】
ジョブカフェ等幅広い年代を対象とした相談支援窓口の運営【氷河期交付金】
建設現場見学会による魅力発信【デジ田交付金】

C：就職促進

建設企業の魅力発見フェアの開催（C1）
観光業マッチングイベントの開催（C2）
UIJ合同説明会の開催（C3）
人手不足地域・企業対象のマッチングイベント【県単独事業】

労働局・ハローワーク

- <連携できる主な支援>
- ・職業相談、職業紹介（A1）
 - ・職業訓練
 - ・雇用・労働関係助成金

経済産業省・中小企業庁

- <連携できる主な支援>
- ・「地域の人事部」事業（A1）
 - ・経営革新支援（A2）

熊本県建設業協会

- <連携できる主な支援>
- ・青年部や各支部による地域支援活動（C1）

都道府県・市町村

- <連携できる主な支援>
- ・移住支援（B2,C3）
 - ・職業訓練
 - ・働き方改革支援（A1,A2）